

ミヤコシ 電子写真とIJ2機種発表 世界初の軟包装向け間欠オフも近く公開

ミヤコシ（千葉県習志野市、☎047・493・3854）は昨年、電子写真方式（液体トナータイプ）の2枚葉デジタルプレス「MDP4000」と、フルカラー両面印刷を

「超コンパクトでありながら、シートを二度通しすることなく、シングルパスで両面をフルカラー印刷することができる。粒径1〜2μmの超微細液体トナーとLEDヘッドによる1200 dpi画像書き込み技術のコンビネーションにより、オフセット印刷に匹敵する超高画質を実現。滑らかなグラデーション表現や微細文字再現性など、インクジェット方式では達成できない印刷品質を誇る。

一方の「MJ P 20 A X」は、従来の輪転デジタル印刷機の常識を覆す毎分254枚（1200×1200 dpi）の超高速で、フルカラー両面印刷を実現しIJプレスだ。最新のテクノロジーを動員した1200 dpiプリントヘッドを採用し、ノズル詰まりなどの高速輪転Jプレスにおける課題を克服し、オペレーターのメンテナンス負荷を低減し、高い稼働率での印刷運用を可能にした。また、新開発の水性顔料インクによりオフセット印刷用コート紙へのダイレクト印刷も実現した。



軟包装向け間欠オフ発表の告知も

「MDP4000」は商業印刷のフィールドで柔軟に対応でき、厚紙パッケージも視野に入れたデジタル印刷機だ。サテライト式の感光体ドラム配列とミヤコシ独自のシート搬送技術により、幅53・6×高さ2・0μmとい

将来的にはさらに厚い紙や7色化（CMYK+特色3色）へのバリエーションアップを予定しており、カートンや紙器パッケージへのアプリケーション拡大も進める。

発表する。